

# きらきらひかる 中和っこ



## 南風吹いたら、卒業の日も間近

め み やよひ(イ) ひとひ くさ たけ  
目に見えて 弥生 一日の草の丈 清水 里美



暖冬のせいもあり、12月に蒔いた菜の花も大きくなって、茎を伸ばす時を見計らっているようです。暦はまもなく3月。旧暦の3月は弥生（やよい）と呼ばれ、「弥生」は現在の新暦でも3月の別名として使われています。この呼び名の由来には色々な仮説が存在しますが、「木草 弥や生ひ月（きくさ いやおひづき）、意味：草木がいよいよ生い茂る月」の「いやおひ」が詰まって「やよひ」となった」というのが最も有力な説です。芽や茎を伸ばす、しなやかな若草のように、今が伸び盛りの中和っこ。この一年で心も体も大きく成長しました。一年間慣れ親しんだ教室や先生との別れの時が、いよいよそこまで来ています。

2月22日（土）、昨年より15日はやい春一番が関東地方に吹きました。春を呼ぶ南の風は、すぐそこに迫った別れを教える風でもあるようです。6年生の卒業の日も間近です。

## 大人は子の鏡 子は大人の鏡 ～アメリカ・インディアンの教え～

「おはようございます」、進んであいさつをしてくれる子。うつむきがちに小さな声で応えてくれる子。あいさつ一つにもその子らしさが表れます。



学校前の交差点、止まってくれた自動車に、渡り終わったらくるりと体の向きを変えて、お礼のお辞儀をする子も増えました。

あいさつやお礼のお辞儀は人とよりよくつながるコミュニケーションともいえます。毎日の習慣が心を磨いているのかもしれない。子どもたちはそれらを、大人のすることを見て学び、まねをしながら身につけていったのでしょう。そして「えらいね。ありがとうね。」とほめられたことで、言葉遣いや行動スタイルがその子らしさとして身に付いていったのでしょう。そう考えると、改めて私たち大人の責任の重さを感じます。子どもは大人の鏡。子どもの教育に携わご家庭の皆様も、私たち教員も、子どもたちの身近な大人。子どもたちがあこがれるような、「かっこいい」大人であるよう努力したいですね。そう考えた時、有名な「アメリカ・インディアンの教え」を思い出しました。

アメリカ・インディアンの教え 作・ドロシー・ロー・ノルト/訳・吉永 宏

批判ばかり受けて育った子は非難ばかりします  
敵意にみちた中で育った子はだれとでも戦います  
ひやかしを受けて育った子ははにかみ屋になります  
ねたみを受けて育った子はいつも悪いことをしているような気持ちになります  
心が寛大な人の中で育った子はがまん強くなります  
はげましを受けて育った子は自信を持ちます  
ほめられる中で育った子はいつも感謝することを知ります  
公明正大な中で育った子は正義心を持ちます  
思いやりのある中で育った子は信仰心を持ちます  
人に認めてもらえる中で育った子は自分を大事にします  
仲間の愛の中で育った子は世界に愛を見つけます



加藤諦三著・アメリカ・インディアンの教え・扶桑社文庫より

みなさんのご家庭では、どのような子に育ててもらいたいと願っていますか？（裏面に関連特集）

心の成長 ～心豊かな子どもに育てる～ 千葉県教育委員会 学校から発信する家庭教育支援プログラムより（抜粋）

家庭で、地域で、学校で、人との「つながり」を大切にしましょう！

地域での奉仕活動を行ったり、体験活動などをしたりすることで、豊かな心が育ちます。また、このような活動を継続すると、社会の一員として自覚が芽生えていきます。家庭・学校・地域で人とのつながりを大切にし、豊かな心を育みましょう。

家庭で、「家族の心をつながり」を大切にしていますか？

- ★ あいさつの実践からはじめ、親子での対話の場を設けていきましょう。まず、子どもの話に耳を傾けることから始めましょう。努力を認めてくれる、困ったときは相談できると感じたとき、親子の真剣な対話が生れます。
- ★ 地域の行事や体験活動などに積極的に参加し、共通の話題を持ちましょう。
- ★ 家族みんなで過ごす楽しさ、愛情による絆を感じると、自分を大切に、他人を思いやる心が育ちます。
- ★ 子どもにとって「お手伝い」は“家族の一員として自分が期待されている”ということを感じさせる良い機会です。また、それを継続することで子どもの責任感が育ちます。
- ★ 自然体験活動をとらえて豊かな感性が育ちます。

「地域とのつながり」を大切にしていますか？

まず、子どもと関わる大人同士が「つながり」を持つことが重要です。

- ★ 地域の行事に親子で参加する機会を設け、人との関わりから「豊かな人間関係」を学ぶことで、心が育ちます。
- ★ 人との交流で認められ自己存在感に気づき、人間関係づくりができます。

子どもの言葉遣いは気になりませんか？

- ◆ 大人から子どもへ心を育む場となるために、豊かな会話がなされるのが大切です。まず、家庭で正しい言葉遣いを伝えましょう。
- ◆ 子どもの言葉遣いに注意をするべき立場のものとして、親の役割が強く期待されます。
- ◆ あいさつは人との交流の基本、まず、あいさつのできる子を育てましょう。人と人とのコミュニケーションをする中で、正しい言葉遣いが身につきます。



ちゅうわしょうダイアリー  
中和小歳時記 ～2月～

2月13日(木) 2年生 生活科  
大きくなったぼく・わたし



今の自分の背丈を紙に写し取っています

2月18日(火) 5年生 総合的な学習  
プランターを明るい色で彩ります。



東日本大震災追悼式典会場を飾るプランター

2月21日(金) 3年生 音楽  
6年生を送る会の練習が始まりました



心を込めて合奏します

新型コロナウイルスが全国的に拡大傾向にあり、感染経路が特定できない事例が多くなっています。児童の健康管理上、次の点についてご協力をお願いいたします。(2月25日現在。今後変更の場合もあります)

- 1 ご来校の際(特に校舎内にお入りになる場合は必ず)はマスク着用をお願いいたします。
- 2 来校者の出入り口を職員・来客用玄関(校舎西側)に一本化いたします。併せて、来校者名簿への記載をお願いいたします。(なお、学校参観日等は別途ご案内いたします。)
- 3 登校前に検温をし、熱がある場合は登校を控えるようご協力をお願いいたします。